

1 事業の成果

昨年9月9日の台風15号により法人事務所(事業所)の建物が甚大な被害を受け、修繕工事が完了する年末までの間は別の場所での仮営業をせざるを得ない状況となった。それにより主たる事業である障害児通所支援事業のみならず全ての事業が縮小または中止となるなど大きな影響を受けた。しかしながら、被災に際して数えきれないほど多くの個人、団体からの多大なご寄附や心温まるご支援を受け、比較的迅速に元の場所での事業を再開することができた。

(1) 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

児童発達支援・放課後等デイサービス「みんなの森」の年度末現在の契約者は59名で、年度当初に比べ11名増えた。台風被災による仮施設での営業中は利用者さんやご家族の皆様にご迷惑とご不便をかける状況となったが、利用人数は減ることはなかった。一概には言えないが、約3年間みんなの森が利用者さんやご家族の皆様へ丁寧に関わってきたことがこのような結果として表れているのではないかと感じている。日々の積み重ねの大切さを実感すると共に、丁寧に対応することが利用者さんやご家族の方の大きな安心につながり信頼につながることを再確認した。

児童発達支援事業では、午前中からの平均利用者が1名/日と少なかったが、利用者さんの興味に合わせた活動を提供しながら、外に出て自然に触れることや体力を使う活動も行ってきた。その他、季節に合わせた制作を行い、季節感を味わってもらったり、手先の細かい動きを取り入れたりすることにつなげることができたと思っている。制作したものを持って帰ってもらうことで保護者の方にも成果が伝わり、喜んでもらった。

放課後等デイサービス事業では、それぞれ自分の興味のある遊びを中心に過ごしてもらいながら、利用者さんから発信のあったことはすぐに取り入れられるようにしてきた。運動会や文化祭などで練習したダンスをみんなで踊ったり、行事に合わせた制作を行ったりするなど過ごし方に変化をつけることで、マンネリ化せず、尚且つ充実した時間が過ごせるように工夫した。長期休みの午後は出かける時間を作り、たくさんのご経験できる機会を提供してきた。「どこにでかけたいか」「どんなことをしたいか」を聞きながら外出先を決め、利用者さんのやりたいことができるようにすることで、利用者さんの満足度が高まるようにしてきた。また、年間行事予定に遠出の外出活動を組み込み、6月、1月に行った(9月は台風で中止)。6月は中学生以上を対象とした外出を計画し、ただ楽しむだけでなく役割も持ってもらうこと、自分のことを自分で行えるように手伝ったりするなど、「出かけて楽しかった」だけではない企画を考え実行した。9月の梨狩りは台風で中止になってしまったが、1月の東京ドイツ村への外出は、毎年恒例となり楽しい時間を過ごしてもらえたと思う。

(2) 交流・余暇活動支援事業

昨年度に続いて土曜開所の日に合わせみんなの森を地域開放するオープンデーを3回開催した(2回は台風の影響により中止)。当法人やみんなの森に関心を持つ方々が子連れで足を運んで下さり、ゲストの方のパネルシアターを利用者さんや職員と一緒に楽しんだり、トランプゲームをしたりしながら交流を深めた。

(3) 普及啓発・情報提供事業

南房総市子育て支援センター「ほのぼの」での出張親子遊びと座談会、発達障がい啓発用の小冊子や会員の声を集めた冊子の販売、会報「たからレター」の発行を行った。毎年恒例となっている「ほのぼの」での出張親子遊びと座談会では、たからばこ会員が子育ての体験談を参加者に語り、多くの参加者の共感を集めた。会報は会員や関係機関の方をはじめとして、医療機関や公民館など多くの人の集まるところに置かせてもらい、発達障がいを始めとする障がいの啓発や当法人と読者との縁を結ぶ役割を果たしている。

(4) 相談・情報提供事業

長期休暇と台風や新型コロナウイルスの影響を受けた時期を除く月2回事業所を開放しオープンスペース「ほっとカフェ」を開催した。子育てに悩む方だけでなく、多くの方の拠り所、居場所として地域に定着していると感じている。ユースお茶会は計7回開催され、中高生の保護者を中心に多くの方が相談や情報交換に訪れ、ペアレントメンターのスタッフが対応している。その他にも発達障がい児の保護者や関係者からの相談に随時応じている。

(5) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

2021年の生活介護事業所開設に向けて、毎月生活介護開設プロジェクト会議(旧長期ビジョン会議)を行ってきたが、9月以降台風及び新型コロナウイルスの影響により、施設見学が中止となった他会議そのものの開催も中止となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	事業内容	実施日時 または回数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	事業費の 金額(千円)
(1)児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	児童発達支援事業	4/1～3/31	みんなの森	11人	契約者14人	10,826
	放課後等デイサービス事業	4/1～3/31	みんなの森	11人	契約者45人	
	森のまつり	台風の影響により中止	みんなの森	-	-	
	森サポ	9/1	みんなの森	2人	利用1人	
(2)発達障害児・者等に対する交流・余暇活動支援事業	オープンデー	4/20、6/15、 2/15(10/19、 12/7は台風の影響により中止)	みんなの森	5人	利用者家族及び一般参加者20人	1
(3)発達障がい等についての普及啓発・調査研究・情報提供事業	出張親子遊びと座談会	10/30	南房総市子育て支援センターほのぼの	5人	南房総地域の乳幼児親子延べ約38人	47
	発達障がい啓発用小冊子の配布・販売、会員の声を集めた冊子の販売	通年	法人事務所	2人	約6人	
	会報「たからletter」の発行(600部/回)	年4回	法人事務所	4人	会員及び関係者270件に郵送、関係機関30カ所、イベント参加者、地域住民等	
(4)発達障害児・者及びその家族、関係者に対する相談・情報提供事業	オープンスペース「ほっとカフェ」	月2回 計10回 (長期休暇期間及び台風や新型コロナウイルスの影響により中止となった期間は除く)	みんなの森 (仮営業場所含)	5人	発達障がい児地域住民延べ62人	19
	ユースお茶会	月1回 計7回 (台風や新型コロナウイルスの影響により中止となった期間は除く)	みんなの森 館山市内喫茶店	2人	発達障がい児の保護者等延べ29人	
(5)障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障がい福祉サービス事業	就労、成人施設見学	台風の影響により中止	-	-	-	16
	生活介護開設プロジェクト会議	通年 計5回 (10月～3月は台風及び新型コロナウイルスの影響により中止)	みんなの森	8人	-	